

平成 25 年度第 3 回 PF-UA 幹事会議事録

日時：平成 26 年 3 月 18 日 11:45 ~ 12:10

場所：つくば国際会議場エポカル 小会議室 303 号室

出席者：佐藤 衛（会長）、腰原伸也、朴 三用（戦略）、篠原佑也、伊藤孝憲（共同利用）、植草秀裕（広報）、田中信忠（会計）、清水敏之（行事）、近藤 寛（教育）、足立伸一、千田俊哉、村上洋一、熊井玲児（運営委員）、木村正雄（PF オブザーバー）

- ・ 佐藤会長より運営委員会の議事進行の確認があった。幹事会では各幹事が報告・審議項目を紹介した。
- ・ 庶務（佐藤会長）ボンベ撤去にともなう要望書提出、KEK サイエンスフェスタ無料化による財政基盤強化
- ・ 会計（田中幹事）平成 25 年度 PF-UA 会計（3/17 まで）
- ・ 広報（植草幹事）PF-UA のロゴ作成
- ・ 共同利用（篠原幹事）P 課題改革、チームタイム削減に対するユーザーアンケート
- ・ 推薦選挙（佐藤会長）次期会長選挙経過と結果
- ・ 行事（清水幹事）サイエンスフェスタ開催
- ・ 教育（近藤幹事）大学院生奨励課題（T 課題）採択結果
- ・ 戦略（腰原幹事）チームタイム削減への対応、BL-4A 運営、放射光科学の将来像への提言の要旨（案）

平成 25 年度第 3 回 PF-UA 運営委員会議事録

日時：平成 26 年 3 月 18 日 12:10 ~ 12:50

場所：つくば国際会議場エポカル 小会議室 303 号室

出席者：佐藤 衛（会長）、腰原伸也、朴 三用（戦略）、篠原佑也、伊藤孝憲（共同利用）、植草秀裕（広報）、田中信忠（会計）、清水敏之（行事）、近藤 寛（教育）、足立伸一、千田俊哉、村上洋一、熊井玲児、高橋敏男、奥田浩司、船守展正、佐々木聡、高橋嘉夫、鈴木昭夫、今井基晴、田淵雅夫、尾嶋正治、栗栖源嗣、三木邦夫、雨宮慶幸（運営委員）、木村正雄（PF オブザーバー）

- ・ 佐藤会長から運営委員会の進行および総会の定足数の確認について説明があった。
- ・ 庶務幹事報告（佐藤会長）
ボンベ撤去に関する要望書を提出し、施設側から 2014 年 1 月のユーザーの集いで回答があったことが報告された。サイエンスフェスタ無料化にともなう財政基盤強化と

して、5 社から展示ブースの協力を頂いているので、多くの参加者にブースを訪ねていただきたい旨の要請があった。

- ・ 会計幹事報告（田中幹事）
平成 25 年度途中までの会計報告があった。収入は予定通りであった。支出は PF-UA、およびフェスタについてほぼ予算どおり執行されている。事業費、会議費、通信費の残余は次年度で対応したい。運営委員会はこの会計を承認した。
- ・ 広報幹事報告（植草幹事）
PF-UA ロゴマーク作成の経緯について報告があった。ロゴマークは下部に文字入り、文字なしの 2 つを使い分けることができる。運営委員会がこの 2 つのロゴマークを承認した。
- ・ 共同利用幹事報告（篠原幹事）
P 型課題の規定変更について報告があった。2013 年末にユーザーグループを通じてチームタイム削減に対するアンケートを行った結果について報告があった。年間運転時間は従来 4000 時間を日処としていたが、2013 年度は 3500 時間、2014 年度以降はさらに削減とされている。かなりのユーザーが利用時間の減少を実感しており、その多くが教育・研究に影響が出ると回答している。自由回答として研究、教育への具体的な影響の記述があった。意見として今後の科学の発展への懸念が回答されていた。

平成 25 年度 PF-UA 総会議事録

日時：平成 26 年 3 月 19 日 15:15 ~ 16:15

場所：つくば国際会議場エポカル 中ホール 300

- ・ 正会員の 1/50 以上の出席者数があり、会則 18 条の規定により本総会が成立することを確認した。
- ・ 会則 16 条により、議長の選出を行った。推薦により、尾嶋氏が議長となった。
- ・ PF-UA 幹事からスライド資料に基づき報告が行われた。
- ・ 会計幹事報告（佐藤会長 代行）
運営委員会により承認された、平成 25 年度途中までの会計の説明があった。収入は予定通りであり、支出についても PF-UA、およびフェスタについてほぼ予算どおり執行されている。

・広報幹事報告（佐藤会長 代行）

PF-UA ロゴマークについて紹介があった。デザイナーに相談し、PF のユーザーグループであることがわかりやすいマークを作成した。カラーリングはPF のロゴマークをベースに、そこから直線が伸びて、ユーザーに広がるイメージで作った。ロゴマークは下部に文字あり・文字なしの2つを使い分けることができる。

・共同利用幹事報告（篠原幹事）

P型課題の規定変更について答申内容を報告した。答申では経験者排除条項を除く、チームタイム申請を随時受け入れるという変更の方針を支持した。次いで、チームタイム削減についてのアンケート結果について報告があった。アンケート結果については2/24にチームタイム確保に関する要望書をKEK 機構長へ出した際に別添資料として出されたことが報告された。今後もPF-UAとして、ユーザーの声を集約し、事態の改善の訴えを継続する方針が報告された。

・選挙管理幹事報告（沼子幹事）

次期会長選挙について報告があった。運営委員から三名の会長候補者の推薦があり、そのうち二名が辞退したため、候補者一名の信任投票となった。Web投票の結果、平井光博先生（群馬大学）が次期会長として選ばれた。平井次期会長は、2014年度は副会長としてPF-UAの運営に参加していただく。

・行事幹事報告（清水幹事）

物構研サイエンスフェスタ開催について報告があった。物構研サイエンスフェスタは、MLF懇談会との共催で、PF-UAは学生賞、朝食の支給、企業展示について所掌した。参加人数が493名のうち、物構研サイエンスフェスタが452名、PFシンポジウムが257名、MLFシンポジウムが135名への参加だった（重複している出席者もあり）。

・戦略・将来計画報告（佐藤会長 代行）

マシンタイム削減に対して、機構長に要望書とチームタイム削減に関する緊急アンケート結果を提出したことが報告された。BL-4Aの運営変更についての経緯説明があった。ユーザー運営化に対する最大限のサポート、今後の同様の事例については早期にユーザーに通知をすることなど5点の要望書を施設に提出したことが報告された。放射光科学の将来像への提言の作成経過について報告があった。提言の要旨案について会場から出された意見を踏まえて、今後提言の要旨を改訂し、パブリックコメントの募集を経て、2015年度の概算要求に間に合うよう提言を取りまとめていく方針が確認された。

物構研サイエンスフェスタ 2013 学生奨励賞について

PF-UA 共同利用担当幹事 篠原佑也

2014年3月18, 19日に開催された物構研サイエンスフェスタにて、優秀な学生ポスター発表を対象に学生奨励賞の授与が実施されました。これはPF-UAが主催となって実施しておりますが、昨年同様に対象をPFユーザーのみならず中性子、ミュオンに拡大して実施しました。各発表に対して3名の評価者が採点をし、全体の発表50件の中から、特に分野・測定手法に限定することなく評価の高かった6件の発表が選ばれました。このうち5件はPF、PF-ARを用いた研究でしたが、これは発表の母数（X線：41件、陽電子&中性子&ミュオン：9件）を概ね反映したものとなりました。各受賞者には山田物構研所長から賞状とトロフィーが授与されました。受賞者と受賞対象発表は以下の通りです（順不同）。

・志村真弘（東京大学大学院 新領域創成科学研究科）

「構造を持たないタウタンパク質1分子の動的挙動計測」

・富田裕介（名古屋大学大学院 工学系研究科）

「イオン液体膨潤ブロック共重合体フォトリソ膜のナノ構造と光学特性」

・神田聡太郎（東京大学大学院 理学系研究科）

「Precision measurement of muonium hyperfine splitting at J-PARC」

・提嶋佳生（名古屋大学大学院 工学系研究科）

「ブロック共重合体/金属塩ハイブリッドのナノ相分離構造に及ぼす構造異性の影響」

・重村圭亮（東京工業大学大学院 理工学研究科）

「しきい光電子源を用いた電子-H衝突実験の現状」

・堀尾眞史（東京大学大学院 理学系研究科）

「強磁性と超伝導が共存する $\text{Sr}_2\text{VFeAsO}_{3.8}$ の ARPES と XMCD」



図1 学生奨励賞授賞式：左から、鳥養映子 J-PARC/MLF 利用者懇談会会長、富田裕介氏、提嶋佳生氏、重村圭亮氏、山田和芳 物構研所長、佐藤衛 PF-UA 会長。

PF シンポジウムでのポスター発表奨励賞から数えて4回目となり、本学生奨励賞も定着してきた感があります。研究内容に対する議論のみならず、特に測定手法に重きを置いて、実験技術・結果の解釈に関する議論を戦わせやすいのが、本ポスター発表での特長になるかと思えます。今回受賞されなかった学生さんも含め、自身の研究を進める有益な機会として活用していただければと思います。



図2 授与されたトロフィー

審査員の先生方には、今回も非常に限られた時間内に多くの、また人によっては全く分野外の発表を審査する無理なお願いを直前にしたにも関わらず、丁寧に審査していただきありがとうございました。次回以降の改善につなげて参りますので、ご意見等ございましたら PF-UA まで御連絡いただきたく思います。